

健康長寿・自立支援プロジェクトの推進状況

戦略
1



老化現象の予測・予防
(ゲノム医療)

戦略
2



自立支援
(補助器具開発・情報提供)

戦略
3



医療介入支援
(医療機器開発)

戦略
4



人生100年時代の住宅整備
(自立のための3歩の住まい)

2023年2月7日 (火)

ファルマ モデルルーム 4つの特徴

2021年3月 OPEN

自立のための 3歩の住まい

PHARMA MODEL ROOM

特徴1 3歩から考える

- ベッド中心の設計
- ベッドから3歩でトイレへ
シャワー、洗面所へも3歩

- 高機能生活補助ベッド
- 歩行トレーニングロボット
- ロボット化道具箱（開発中）



- 生活補助天井レール
- 感染症対策床・壁素材
- 衝撃吸収床材

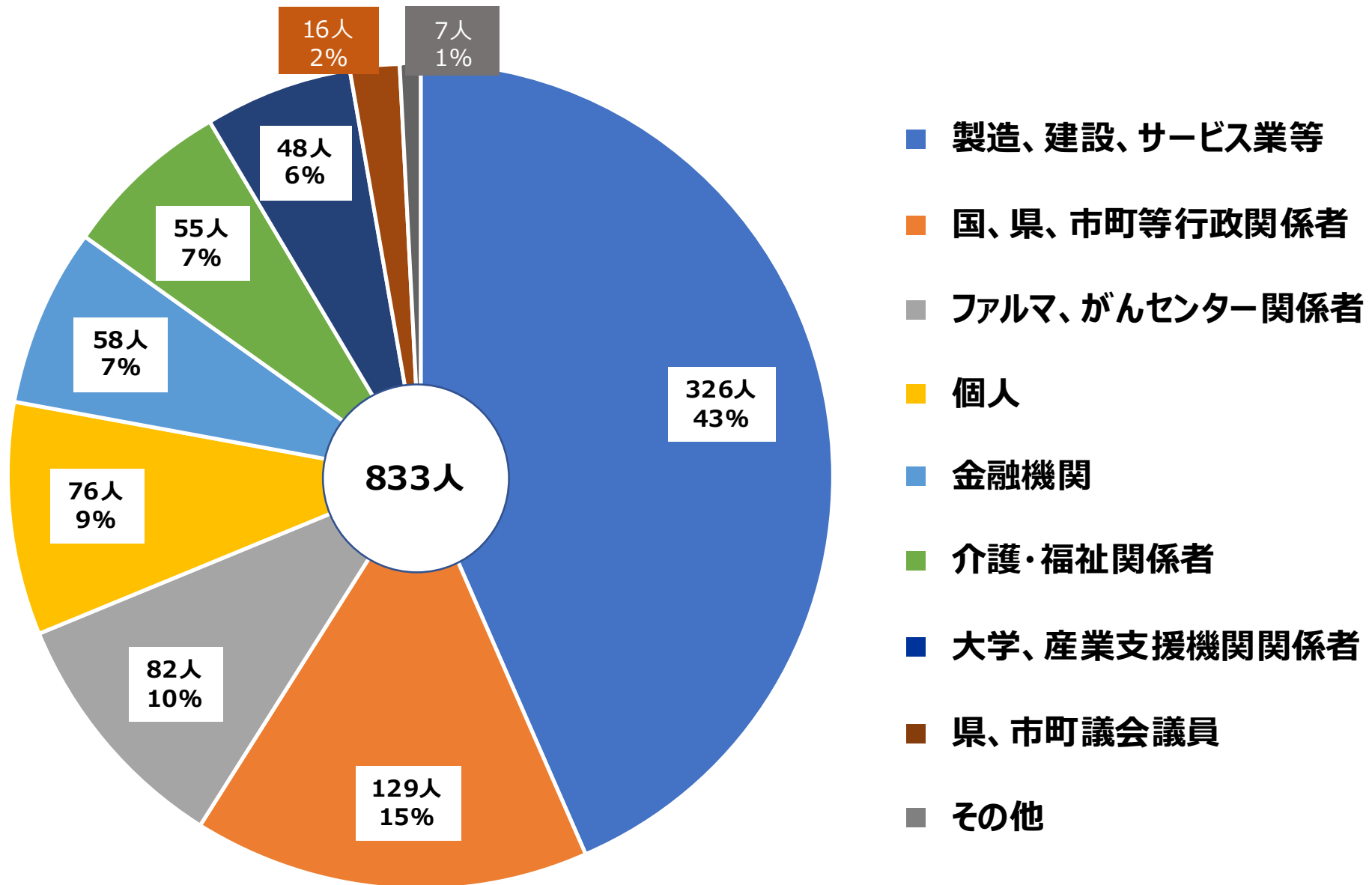
- 次世代ディスプレイ
- 家族・社会との対話
- オンライン診療

特徴3 ロボット化・AI化

特徴4 家族・社会との絆

「自立のための 3歩の住まい」のコンセプト普及に向けて

800人を超える見学者から多くの意見と提案をもらう



「3歩から考える」のコンセプトへの意見

- 健康寿命が尽きた際の自分にとって大変便利
- 自分の思う住まいのイメージ
- 自宅を改修する際はこのような視点を取り入たい

「ファルマモデルルーム」見えてきた課題

- 一般家庭の部屋は、もっと狭い（モデルルーム16畳の広さ）
- 部屋の空間デザインを意識する必要がある
- 個人住宅への普及に向けて、低価格化が必要

コンセプトを活かしつつ、課題を解決し

「自立のための 3歩の住まい」を

深化させるためには・・・

一般住宅やサービス付き高齢者向け住宅等への 実装化に向けての検討 住まい環境整備モデル事業（国交省）の活用

「自立のための 3歩の住まい」の標準モデルとは

- 健康寿命が尽きたあとも自立し、安心、安全、快適に暮らせる機能を一つの部屋に集中させたモデル

標準モデル構築の考え方

- 「自立のための 3歩の住まい」4つの特徴を生かす
- 標準設計マニュアルの構成
- 空間設計・設備設計・生活支援設計の3つの視点
- 標準設計プラン
- 6畳、8畳、12畳及び水回り増築タイプのプランで考える

空間設計

- ・3歩の移動空間
- ・可変性のある空間
- ・医療、介護空間
- ・快適な環境空間

設備設計

- ・サニタリー／トイレ、洗面
- ・サニタリー／浴室、シャワー
- ・居室／ベッド、床、壁
- ・居室／手すり、移乗支援

生活支援設計

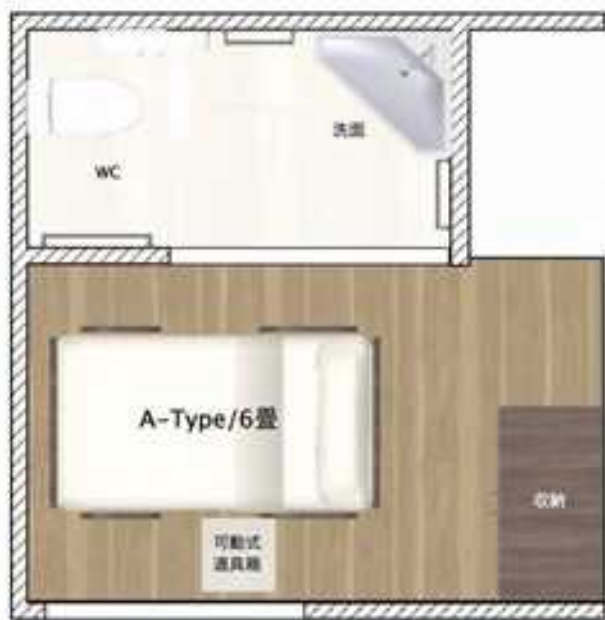
- ・家族、社会のつながり
- ・安心、安全
- ・生活支援ロボット
- ・各種支援機器等



標準設計プランの基本的な考え方

標準設計マニュアルをベースに標準的な家屋の広さごとに、6畳～12畳タイプの設計プランと詳細図、使用材料等の共通使用書、施工に関する留意事項などを示しています。

広さごとの設計プラン



6畳タイプ



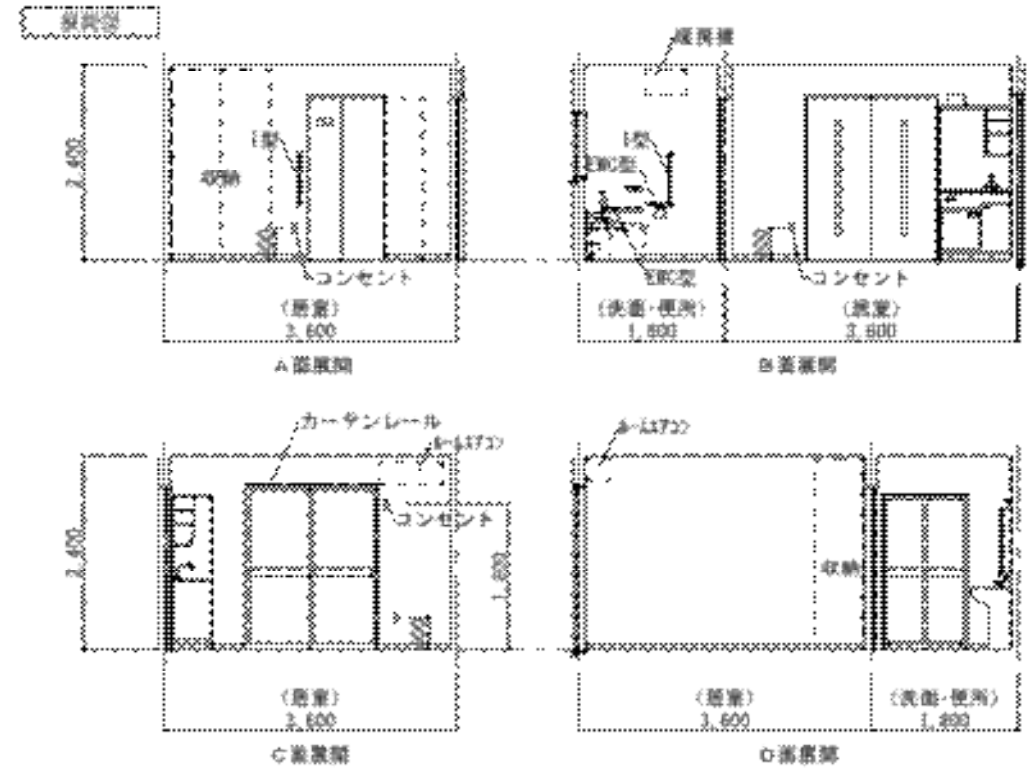
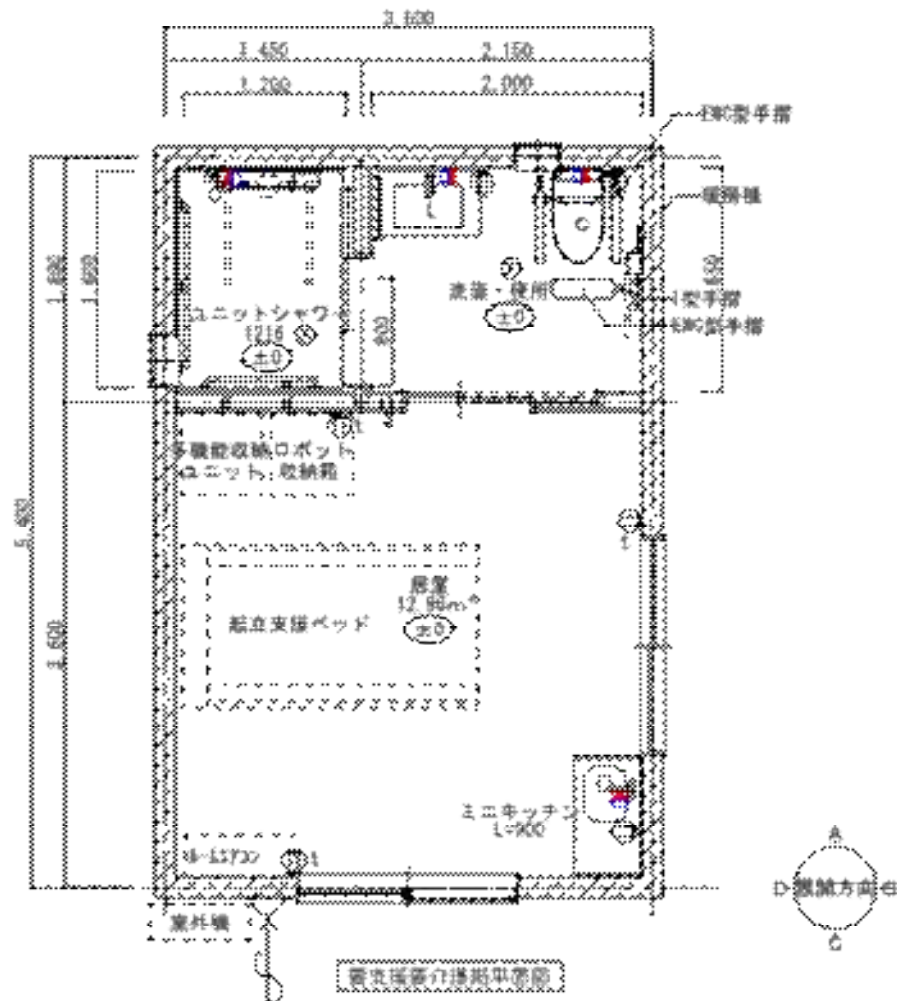
8畳タイプ



12畳タイプ

詳細図、使用材料等の共通使用書、施工に関する留意事項（12畳タイプ）

内部仕上表				記号凡例	
居室	天井高さ=2,400	洗面・便所	天井高さ=2,400	○	照明器具
床	衝撃吸収フロア $t=14$	床	衝撃吸収フロア $t=14$	⊕	壁付コンセント
巾木	既製木製巾木 $H=60$	巾木	既製木製巾木 $H=60$	⊖	情報マルチコンセント
内壁	メラミン不燃化粧板 抗ウイルスタイプ $t=3$	内壁	メラミン不燃化粧板 抗ウイルスタイプ $t=3$	⊗	換気扇
天井	不燃石膏ボード $t=9$ 下地ビニールクロス貼	天井	不燃石膏ボード $t=9$ 下地ビニールクロス貼	⊙	混合栓
				△	給気口



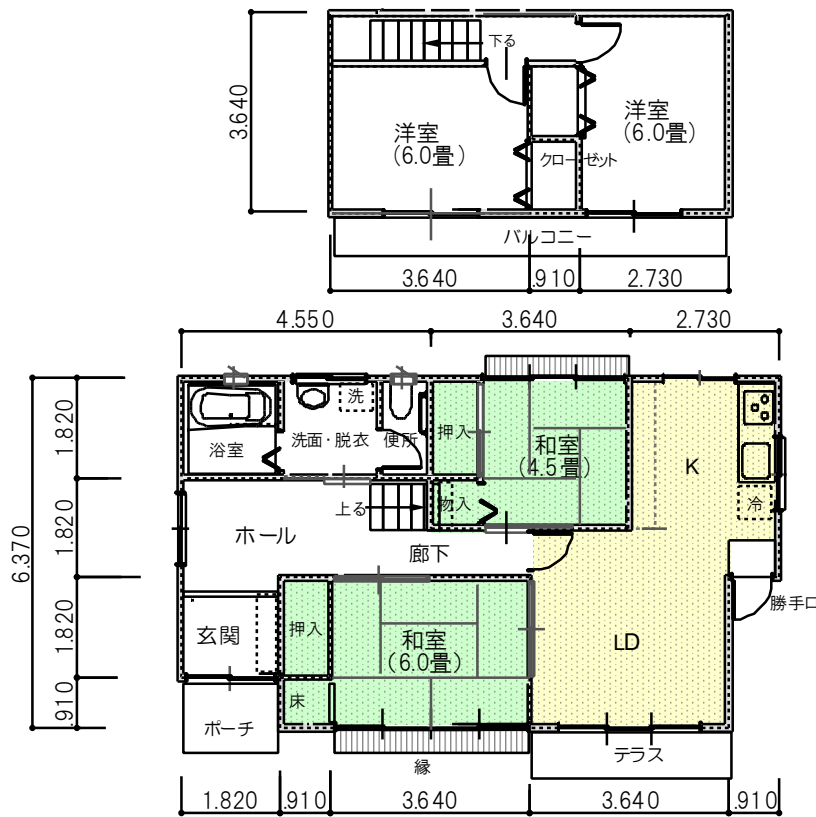
標準設計サンプルの基本的な考え方（一般住宅の改修）

標準設計マニュアルや標準設計プランをベースに、既存の住宅を「自立のための3歩の住まい」のコンセプトに合わせて、改修時の参考例として示しています。

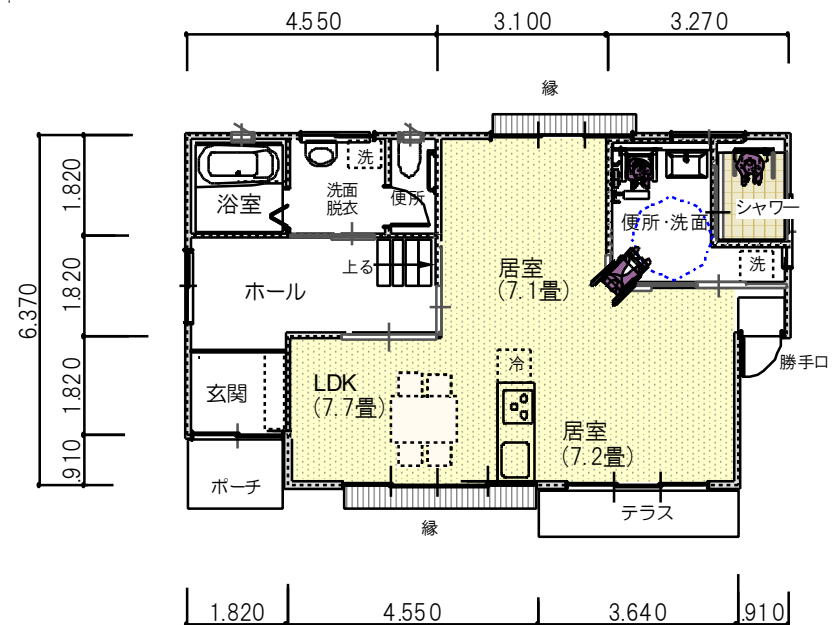
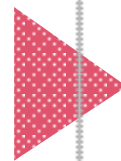
一般住宅改修時の参考例

- 住宅専任戸建て2階建て住宅の1階一部
- 住宅床面積: 91.92㎡のうち 62.11㎡
- 家族形態/二世帯

- 1階を高齢者夫婦の住まいに改修しその他は現状で同居世帯が使用
- 高齢夫婦専用のトイレ洗面シャワー室を新設
- LDKを新設しこれまで同様、家族団聚の場として利用



改修前



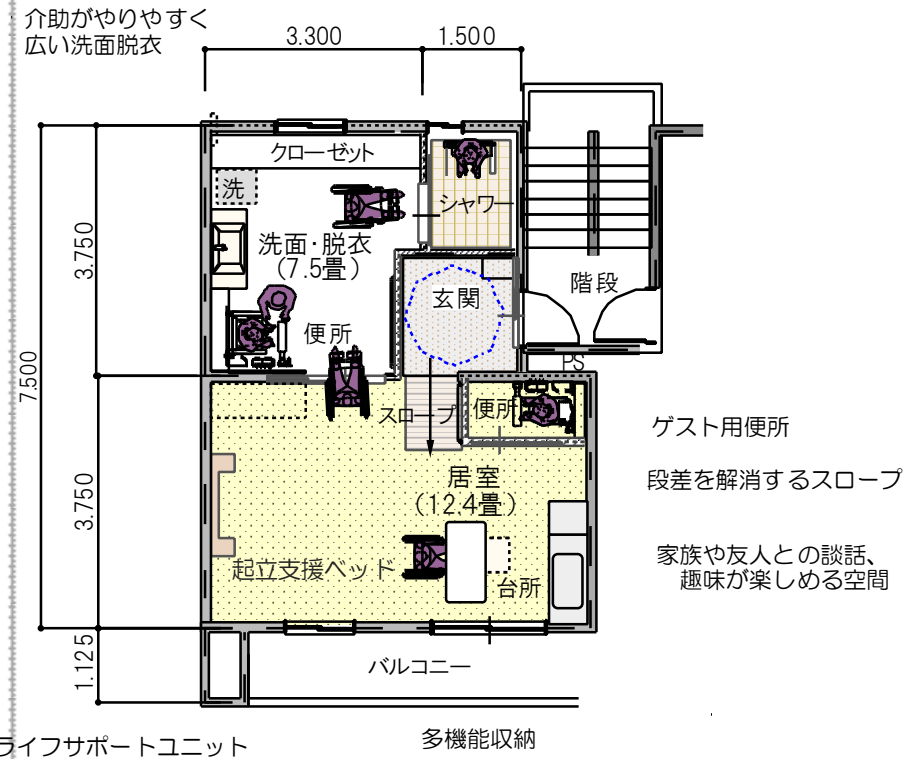
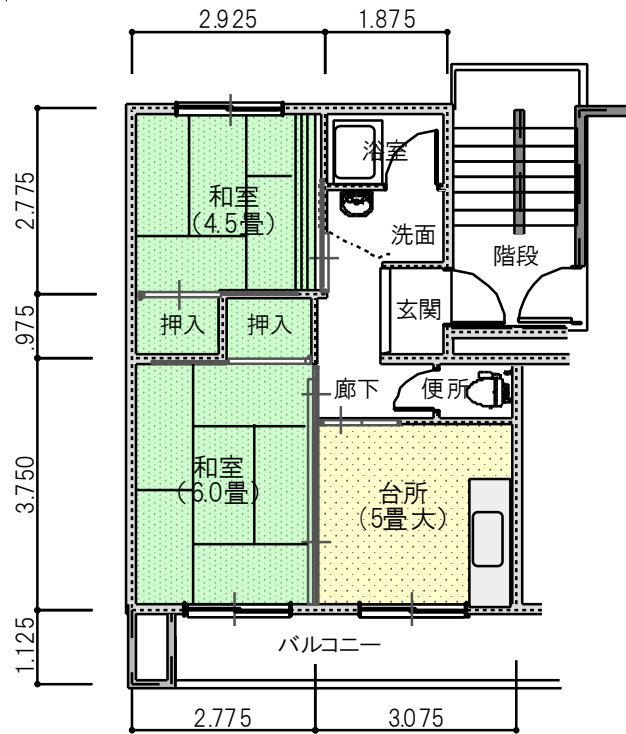
改修後

標準設計サンプルの基本的な考え方（集合住宅の改修）

既存の集合住宅の改修時の参考例

- 住宅種別/公営集合住宅(2LDK)
- 住宅床面積/40.66㎡ ハルコニー面積5.82㎡
- 家族形態/一般世帯

- 床全面改修のうえ、バリアフリー化、汚れ防止、孔菌害に改修
- 既存の設備を利用するため水廻りを維持
- 単身生活の孤独感を軽減、会話や趣味が楽しめる空間を確保



「自立のための 3歩の住まい」実装化に向けて

自立のための 3歩の住まい 普及セミナー 設備・福祉機器展

安心・安全・快適な自立を支える

2月28日(火)

設備・福祉機器展/普及セミナー
11:00~16:00 13:00~15:00

プラサヴェルデ
コンベンションホールA

静岡県沼津市大手町1-1-4

参加無料

セミナーのみ 要予約
定員120名

セミナー
概要

特別講演 13:10 ~13:30

高齢者の住まいに関する現状と施策の動向

国土交通省住宅局 安心居住推進課 高齢者住宅企画係長
武田 高志氏

自立した生活をかなえる標準設計要件とは 13:30-13:50

有限会社アルデシテ 代表取締役 小塚 陽子氏

「自立のための 3歩の住まい」を導入するために 13:50-14:10

株式会社メディアファ設計 代表 小西 正明氏

人生100年に備える高齢者の住まいとは

ファルマバレーセンターでは、人生100年に備えて高齢者が安心・安全・快適に自立して過ごせる理想の住環境「自立のための 3歩の住まい」を、ご自宅や施設に改修・増築して導入するための設計マニュアルと設計事例について特設セミナー形式でご案内いたします。

会場には「3歩の住まい」12畳タイプのモデルルームも設置、併せて安心・安全・快適に自立した生活を送るための設備・福祉機器も展示いたします。是非ご来場ください！

●ゲスト講演

福祉用具・介護ロボット 最前線 14:20~14:40

公益財団法人テクノエイド協会 企画部長 五島 清国氏

サービス付き高齢者向け住宅の取組事例 14:40~15:00

株式会社学研ココファン 企画開発部プロジェクトマネージャー 中山 省吾氏

安心・安全・快適な自立を支える
設備・福祉機器展



「自立のための 3歩の住まい」12畳タイプモデル展示

その他設備・福祉機器・用具を展示・体験も可能です。
最新情報は下記URLかQRコードよりご確認ください。

<https://sites.google.com/view/sanpo-jiritsu>

入場無料

11:00~
16:00



●セミナーお申込方法

上記サイトにあるフォームから申し込むか、sanpo@fuji-pvc.jp 宛に件名「普及セミナー申込」と記入し、氏名、〒住所、電話番号、(団体名、部署名)、所属分類(一般、企業、行政・医療・介護・福祉、学生、その他のうちから選択)、年齢、性別、メールアドレスをお送りください。(複数でお申し込みの場合は全員分を記入のこと)後日事務局より参加のご案内をお申し込みのメールアドレスにお送りいたします。

締切 2月20日(月) ※定員になり次第締切

※お申し込みの個人情報につきましては本セミナーに関連したご案内と情報提供を行うために必要な範囲内においてのみ利用させていただきます。

ファルマバレーセンター
(公社)ふじのくに医療福祉推進機構
事業推進部

〒411-0934 静岡県静岡市駿河区下田1002-1

☎ 055-980-6333

✉ sanpo@fuji-pvc.jp

<http://www.fuji-pvc.jp/>

健康長寿・自立支援プロジェクトの推進状況

戦略
1



老化現象の予測・予防
(ゲノム医療)

戦略
2



自立支援
(補助器具開発・情報提供)

戦略
3



医療介入支援
(医療機器開発)

戦略
4



人生100年時代の住宅整備
(自立のための3歩の住まい)

ご清聴ありがとうございます